

発行：チボリ国際里親の会事務局編集部  
 事務局：〒110-0016 東京都台東区台東1丁目25-16 大熊ビル205  
 TEL.03-3835-1545 FAX.03-3835-1546 IPTEL.050-1371-1541  
 URL：http://www.jofpa.org E-mail：jofpa-tokyo@jofpa.org

- 1 …… コミュニティだより  
卒業研修旅行
- 2～3 …… 第32回総会の報告
- 4 …… JOFPAとHANDSの協働事業の申し入れ  
シスター松田が事務局を訪問  
一年経って修道会がここまでできました！
- 5 …… アンケートに寄せていただいた会員の声
- 6 …… 高島屋「アジアスタイルフェア」のお知らせ  
事務局からのおたより

学校に行けないフィリピンの少数民族(チボリ族)の子どもたちを精神里親制度で支援しています

## フィピン教育制度の変更について



今年度から、フィリピンのハイスクールの就学年限が6年間になりました。  
 この新制度は、今年6月に入学する1年生からの適用になりますので、現在ご支援いただいているJOFPA里子は4年間で卒業になります。  
 今後、卒業年限延長はあっても、里親の方にできる範囲で支えていただけることで、SCMSIの学校運営が安定し里子の教育の機会も保たれることを願っています。(事務局)

### JOFPA里子の進級報告(2012～2013年度)

学校名	生徒数
ベネフ小学校	17名
ラヒット小学校	21名
エルロー小学校	2名
レム・エヘク小学校	33名
ニアン小学校	21名
トゥブラン小学校	1名
レム・エヘク・ハイスクール	67名
デコロン・ハイスクール	49名
SCMSIカレッジ	35名

### SCMSIの全生徒数(2011～2012年度)

学校名	全生徒数
ベネフ小学校	109名
ラヒット小学校	182名
エルロー小学校	274名
レム・エヘク小学校	232名
ニアン小学校	203名
トゥブラン小学校	93名
計	1093名
レム・エヘク・ハイスクール	567名
デコロン・ハイスクール	608名
計	1175名
SCMSIカレッジ	227名

## 卒業研修旅行



はじめての  
エスカレーター経験

今年も、4月18日と19日、成績優秀な生徒の卒業研修旅行が行われました。参加生徒数は40名でした。大学訪問、孤児院訪問、ドール・フィリピン企業訪問、海水浴などの1泊旅行でした。マリア・ガンダムさんからは写真と報告書、子どもたちからは感謝の気持ちを込めた感想文が届きました。会からは昨年同様、「矢野基金」10万円を送金しています。(事務局)



イェーイ!



**Joshian Singkan**

レム エヘク小学校

最初に私たちは、ノートルダムマーベル大学を訪れました。大学の学長が私たちを歓迎してくれ、嬉しかったです。設備がとても充実しているので、大学に進学するなら、この大学で学びたいと強く思いました。

昼食後、孤児院を訪れました。そこには28人の

孤児がいました。それから、我が国の大企業のドール・フィリピンを訪問しました。

次の日、スポーツスタジアムで過ごした後、サントス市のKCCモールに行き、映画を1時間半見ました。映画を観るのは生まれてはじめての体験でした。とても楽しかったです。

里親の会の皆さまはじめ、この旅行を実現させてくださった矢野さんにとっても感謝します。

# 第32回総会の報告



第32回総会が2012年6月10日(日)に台東区生涯学習センターで開催され、以下のことについての承認及び決議がされましたので報告いたします。

## ○議題

1. 2011年(平成23)度活動報告と収支決算
2. 任期満了に伴う新監査役2名の選出
3. 支援契約終了と今後の対応について、「あり方委員会」からの提案
4. 2012年(平成24)度活動計画と予算案

- (1) 監査報告を受けて承認
- (2) 坂詰美代子さんと吉永洋子さんを監査役再選
- (3) に関しては以下の状況を議論した後に承認。協議に先立ち、今年の3月に現地訪問をされた河原紀夫理事の視察報告や、同行された山内末雄支部長(神奈川)が過去に訪問された当時と今を比較検証された現地の状況の変わり方の感想を含めた話をしてもらいました。そして、「あり方委員会」が実施したアンケート結果を踏まえて出された提案事項が協議されました。  
「あり方委員会」が実施したアンケート結果を踏まえて出された提案事項が協議され、決議されました。
- (4) 昨年度の事業に加えて、高島屋(横浜店)のアジアンスタイルフェアに参加することを了承されました。
- (5) 鬼村副会長より退任したい旨の申し出があり、後任は、次期理事会で協議されます。



総会にて

## 総会の成立について

総会出席者は12名。(出席議決は13口)  
委任状の211口と合わせると議決権は224口。  
正会員数577口、総会の成立は1/5(122口)  
規約により成立。

## 現地訪問者の感想

- \*印象としてレイクセブ地区は発展してきていると感じますが、水道の設備が不十分で、子どもたちがポリタンク(小)で水を運んでいます。また、パソコンも普及しています。しかし、まだまだ停電は日常的にあるそうです。
- \*山岳地区には、まだ未就学児が散在しているという気がかりな面が残っているので、山岳地区に住む子どもたちの支援をすることには、意義があることだと思いました。

## 心よりご冥福をお祈りいたします

チボリの会に永年貢献されました香川県の元理事・矢野憲作様(97才)が、7月4日に永眠されました。2002年「矢野基金」より、子どもたちの楽しみみの卒業研修旅行の費用に使われてきました。これまで、会の活動にご尽力いただき、ありがとうございました。

(哀悼のお言葉は次号に掲載予定)

---

## あり方委員会からの提案

私立学校（サンタ・クルス・ミッション）と現在実行されている契約期限は2013年5月末で一旦終了します。その後の支援活動の継続を希望されている会員の方の要望を実現に向けての方策として、NPO法人HANDSと協働をしてもらうという方法を採用することになります。

---

### 提案事項に係る背景の説明と結果

NPO法人ビラーンの医療と自立を支える会（HANDS）は、当会の活動趣旨と酷似した少数民族の自立に向けた支援活動を実行されている会で、HANDSの現理事長（山崎登美子さん）はJOFPAの会員であり、副理事長（古川順一さん）は、JOFPAの元会長を務められた方なので、JOFPAの活動を熟知されています。

当会との協働を実現していただける相手として最適であるということから「あり方委員会」の提案事項になりました。そして、以下の事項を協議した後に、原案が承認されました。

(A) 協働をしてもらうことになったHANDSとは、今後に向けたことを話し合う場を設け、当会の契約終了後の支援活動に関わる詳細（事務作業等含む）を、この一年間の中で煮詰めつつ、その活動の見通しを立てていくことにします。

(B) サンタ・クルス・ミッションとの連携の仕方を精査し、里子支援の方法や、当会が実施してきた様々な事業（医療支援、修学旅行、クリスマスプレゼント等）をHANDSとの協働枠内で実行可能な支援を継続させます。

そのためには、当会とHANDSとが話し合う場をもうけ、JOFPAの支援継続を希望されている会員のご希望に沿えるような活動を実現させていくようにする。ただし、従来どおりの活動方法とは異なるので、SCMSIとの新たな契約は更新しないで、HANDSに組み入れてもらえるような新しい方策を立ててスタートすることになります。

過日に実施したアンケート結果では、約55%の方が会員としての支援継続を希望されていました。

そして、多数の方々から、現在、支援を受けている里子のことを心配されている声が寄せられてきていましたので、SCMSIとの契約終了後に、里子が突然通学出来ない状況になるような事態にはならないようにHANDSとの協働作業を進めて行くことになります。それ故に、里子支援に関しての事務的作業は、今後もSCMSIの協力を得ながら実行されます。

しかし、今までの会費の使途内訳等をHANDSと話し合う中で決定をさせていくことになりました。

---

### (臨時)理事会とあり方委員会の報告

7月4日に事務局にて開催され、総会の決議を受けて、以下のことを実行することになりました。

\* 当会から、HANDSへ正式な協働事業の申し入れ（P4に掲載）をするとともに、決議事項をSCMSIに伝えることになりました。

\* 鬼村副会長の退任にあたり、後任として河原理事が副会長に就任されることが決まりました。

\* 事務局の開局時間が、週に4日だけに変更されました。（会費減収のため、事務所の維持経費を軽減させるための措置です）

次期、理事会とあり方委員会は11月21日（水）に開催されます。



これまで、チボリ族に対する本会の支援活動に、貴会の深いご理解とかかわりをいただいていたことに、厚く感謝申し上げます。

本会は32年間にわたり、現地サンタ・クルス・ミッション学校法人の経営を資金支援することで、未就学児の就学を促進させ、子どもたちの精神的な支えとなってまいりました。

この支援によって、現地学校法人との共働が実を結び、チボリ族の意識と自治能力が向上してきました。さらに、今後も各地に公立学校が増えていくに伴い、未就学児救済という私立学校への依存度は相対的に小さくなりつつあり、本会の支援目的はほぼ成就されたと判断されます。

また、学校法人は教職員の給与を支援金に依存しているため、際限ない甘えが助長され自立が妨げられていることも懸念されます。さらに、本会会員の減少に歯止めがかからず、約束した送金はおろか、会運営も困難な見通しとなってきました。

そこで、昨年度の総会で、来年5月の支援契約満了を期に、送金を停止することを決定し、現地には、送金を減額しながら、自立経営の一層の努力を促し

ているところです。

これらの状況を勘案し、送金停止以降の会のあり方について、会員の意向をもとに検討してまいりました。

アンケートの結果、「里子が卒業するまで」「まだいる未就学児のために」と、約140名の会員が支援継続を希望しているため、目的を同じくし、本会と深い関わりのある貴会に、希望者の願いが実現できる場を設け、志を協働していただきたい、ということとなりました。

ただ、前述した送金終了の意図と継続という矛盾を解決した上で、継続の願いが、現地住民の切なる願いと符合し、達成目標を共有した、新たな観点に立つことが望まれます。

これまで培ってきた支援方法と反省点、里親としての心など、貴会の活動に生かしつつ、展望のある支援体制の強化に貢献できるものと存じます。

本会の現状と会員の思いをご理解いただき、事務手続き等の詳細は、今後の両団体との合同会議で協議させていただきたいと思っております。標記の件をお引き受けくださいますようお願い申し上げます。

## シスター松田が事務局を訪問

フィリピン・ミンダナオ島で、永年奉仕活動をされているご受難会修道女会（パシヨニスト・ナズ）のシスター松田が来日され、5月16日にチボリ事務局を訪問されました。

事務局へは1時間半ほどの訪問でしたが、理事の河原さん、大須賀さん始め他3名の会員と懇談しました。シスター松田から修道女会の建設に対するJOFPA会員の方々のご寄付への感謝のお言葉をいただき、現地の様子などのお話を伺いました。

朝9時に渋谷駅で6年ぶりにお会いし、一日をご一緒させていただきました。滞在中のお疲れを心配していましたが、素敵な笑顔でお元気に過ごされました。（事務局 関根）



素敵な笑顔とご一緒



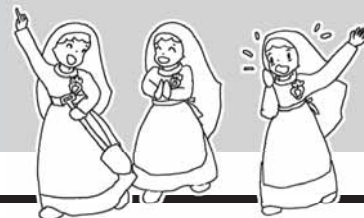
暑い中ありがとう

## 一年経って修道会がここまでできました！

修道会の建設にご寄付してくださった皆さま、本当にありがとうございました。

私たちは毎日、現場の方々に氷とお菓子を届けるため、建築現場を訪れています。とにかく暑いのです。

完成の日を夢みて、現場の方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。



チボリの自立を助けるような支援をもう少ししたいかなと思いますが、甘えにつながるならばやりかたを変えないと。

2013年契約終了後、今SCMSIがどのような支援をのぞんでいるかを見極める事が必要と思います。

今の里子が希望するレベルまで支援ができればと思います。

最低レベルの勉学を身につけてほしいので、未就学児の減少に力を入れていくことを希望します。

現地の支援成果をもたらしているのか少なくとも年一回はモニターに行くか、もしくは現地の団体（第三者機関）に依頼する。

2013年契約終了後も会員として支援を継続したいと思っています。

月、2000円の支援も私には少し大変とったりする事もありますが、考えてみると、ちょっと美味しい物を食べようと思うと、すぐ2000円どころではありません。

1回の物欲とチボリの子どもの1ヶ月を思うと本当に自分の幸せに感謝です。

自己満足かもしれませんが、どこかで誰かが私の小さな支援を待っている人がいると思うとホッと心があたたかくなります。

①会費減少を考慮し、当初の目的である未就学児童の教育支援を重点的に行う。

②SCMSIへの支援は一定の成果がみとめられたので、現地の然るべき他団体に支援を委託し、当会から送金する。委託団体から運営状況について定期的に報告を受ける。当会が直接にプロジェクト案件の審査、モニタリング、評価、会計監査を実施するのが望ましいが、出来ない場合は現地の第三者機関に依頼する。

もう少し支援を続けたいと思います。来年もチボリ訪問の計画を立てて頂けたらと思います。

山岳の奥地に暮らす子どもたちの就学支援は必要と思う。SCMSIを経由しないで支援する方法はあるか。

今後の支援については「2013年あり方委員会」にゆだねます。

## アンケートに 寄せていただいた 会員の声



HANDSの会と両方かけもちして入っております。支援を必要とする子どもたちが沢山いますことを考えると、チボリの会もぜひ続いてほしいです。

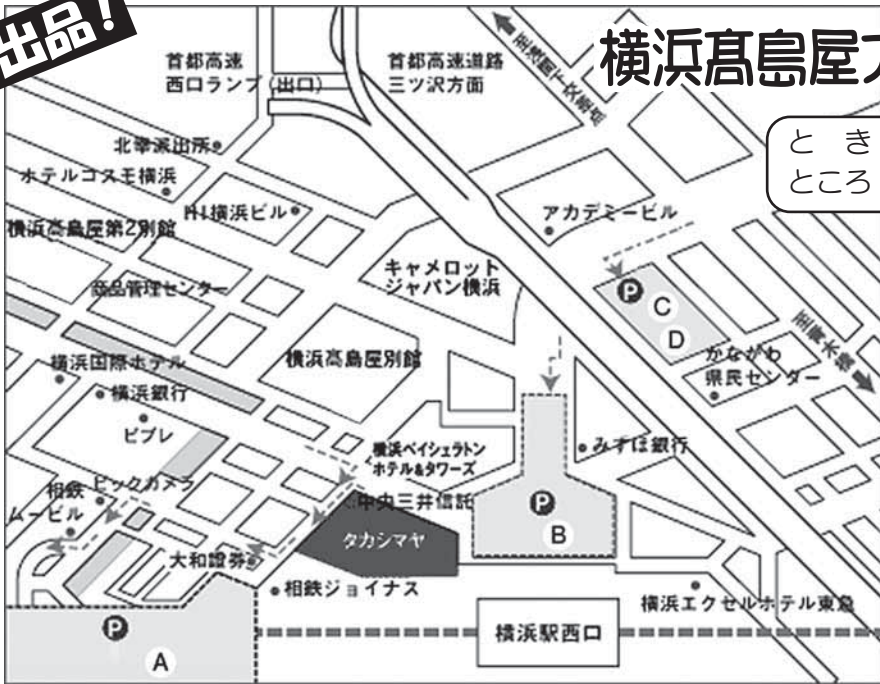
毎年送られてくる写真や手紙で成長を楽しみにしています。

これから数年間は、未就学児の多い辺境山間部の教育費用等の支援にウエイトを置いてもらいたいと思います。

出品!

# 横浜高島屋アジアスタイルフェア

と き 8月29日(水)から9月3日(月)  
ところ 横浜高島屋(神奈川県)



◎デパートでの出品です。  
民芸品の素敵なバック、小物が  
たくさんあります。  
友人、知人をお誘い下さい。

◎民芸品の販売のお手伝いをして  
いただけませんか?



ボランティアを募集  
しています。  
電話 03-3835-1545 まで

## ■里子の進学・進級のお知らせ

今年3月に小学校とハイスクールを卒業した各里子の進学状況が、SCMSIから未だ届きません。届きましたら里親の皆さまにご報告いたします。もうしばらくお待ちください。

また、「わたしの里子はどうなっているのかなあ?」と思われる方は事務局までお問い合わせください。

電話：03-3835-1545

## ■事務局の開局日と夏休みのお知らせ

変更：週5日から4日間に変更になります。

月・火・木・金の10時から15時30分まで3人のスタッフが交代で勤務。水曜日は事務所を閉めますが、ご用件のある方は、お名前と会員番号を留守番電話にメッセージをお残しください。翌日、ご連絡いたします。また、Eメールの場合はスタッフが自宅でも対応しています。

夏休み：8月10日(金)から17日(金)まで。

## JOFPAへのご支援・ご協力ありがとうございます

敬称略(2012年5月3日～2012年7月4日)

### ■新入会員 (<>内はご紹介者又は入会のきっかけ)

長崎県 古川千賀江<内川明彦>

### ■ご寄付者

(ご寄付・随時ご協力の賛助費についてお名前を紹介させていただきます。)

植木久美子 岡村鈴江 五井早苗 篠原寿美子 高井和子  
富永正子 府中真弓 匿名2名

### ■切手(未使用、使用済含む) その他

大橋路代 桂典子 小林知津 得用美代栄 中西愛子  
松本弘子 宮崎純一

### ■ボランティア(会報、バザー、翻訳、その他)

相田陽子 足川春美 大須賀三歡 恩田和美 木野郁子  
鈴木光江 刺田公子 武田とよ子 富江崇 増田憲治  
安井博子 吉永洋子

お名前掲載を希望されない方は、お手数ですがその旨事務局までご連絡をお願いいたします。



## 事務局からのおたより

### ■バザーのお知らせ

文京区ボランティア・市民活動まつり

日時：2012年(H24)11月17日(土)

午前10時から午後3時まで

場所：東京都文京区本郷4-15-14

文京区民センター4階

### ■東日本大震災への義援金

引き続き、東日本大震災への支援を予定しています。皆さまからのご協力をよろしくお願いいたします。

### ■編集後記

総会が終わり、来年の形が見えはじめています。それぞれの思いが交錯しています。事務局の仕事をして、このような活動は自分の生活の多くを無償で費やせるボランティア精神がある人でないと務まらないとわかりました。私はほんの少し勤務させていただいているだけですが、長年、事務局で仕事をしてこられた関根さんには頭が下がる思いです。いろいろ勉強になっております。(向山)